



深川社協だより

# ふかわ

第63号  
2024.9.1

絵は河野香代美さん（深川1丁目）

■編集発行 深川地区社会福祉協議会広報部会

令和6年2月4日に第1回健康ウォーキングを行い40名の方に参加いただきました。今回のコースは公民館を出発し薬師橋、亀崎橋経由深川橋で折り返し公民館へのルートでしたが、「もっと歩きたい・・・」との感想もありました。公民館に帰着後、女性会の皆さんのが準備してくださった力レーライズを頂いて解散しました。

公衆衛生推進協議会 会長 平田 一昭



数年前から耳が聞こえづらくなりました。そのうち補聴器を購入して付けるようになりました。はじめは髪に隠すようにして付けていました。でも考えてみれば体の不調に対しても矯正や薬を飲んだりしてしつかりと和らげるよう努めているわけです。これはメガネと同じだなと思うようになりました。

一昨年の深川地区社協の理事会講演会で、講師の方が次のようなことを質問されました。「皆さんは困っている人が身近にいた時、助けてあげようとしますか。」ほとんどの人が「はい」と手を上げました。「それでは、皆さんは自分が困っているとき、自分は今こんなことで困っているので助けてくれませんかと聞えますか。」参加者は40名ぐらいでしたが、私を含めてほとんどの手が上がりませんでした。手を差し伸べる「はい」とわなが、自分が援助を求める「はい」は口惑つてしまつ。

補聴器を付けてしばらくたった時、ある会場での会議の場で聞きづらいので、勇気を出して「聞こえにくいので、マイクを使ってもらえないませんか。」とお願いしました。快くマイクをセットして、使って貰うなりありがたかったです。

お互に困っているとか、援助を求めることが自然にできるそんな地域でありたいなとあらためて思いました。

自然に「援助をお願いします」といえる地域でありたい

深川地区社会福祉協議会 会長 山口悦朗

令和6年度 深川地区  
社会福祉協議会役員・理事名簿  
令和6年4月28日現在

## ■ 常任理事

【順不同・敬称略】

役職名	氏名	所属団体名
会長	山口 悅朗	陰地自治会長
副会長	東 美貴子	深川女性会会长
副会長	福岡 壽	深川地区自治会連合会会長 中郷自治会長
事務局長	山口 昌利	院内自治会長
会計	加藤 洋子	上庄地区福祉委員
事業部長	大下 秀明	下庄自治会長 保護司
広報部長	小野 光雄	深川台自治会長
福祉部長	多川 洋子	西塚地区福祉委員
民児協代表	林 孝治	民生委員・児童委員 西塚地区
学区老連会長	荒川 忠臣	中深川福寿会会长

## ■ 監事

役職名	氏名	所属団体名
監事	川端 忠男	深川台福寿会会长 深川地区防犯組合連合会会長
監事	山村 佳子	民生委員・児童委員

## ■ 理事

役職名	氏名	所属団体名
理事	向井 高長	奥迫自治会長
理事	岩田 和昭	西塚自治会長
理事	山下 節彰	上庄自治会長
理事	平野 雅幸	尾和自治会長
理事	久都内 文治	保護司
理事	平田 一昭	深川学区公衛協会会长
理事	松本 正樹	深川学区自主防災会会长
理事	田上 誠也	深川学区体育協会会长
理事	西村 牧生	深川地区青少協会会长
理事	山沖 満穂	下深川福寿会会长
理事	門傳 将道	深川小学校PTA会長
理事	増阪 喜久美	深川学区子ども会育成協議会会长
理事	原 妙子	深川地区母子寡婦福祉会会长
理事	橋岡 由夫	深川消防団分団長
理事	岩本 秀子	主任児童委員
理事	戸澤 孝子	民生委員・児童委員
理事	岡崎 雅子	民生委員・児童委員
理事	増井 俊博	民生委員・児童委員
理事	榎谷 省三	民生委員・児童委員
理事	小田 通子	地域福祉推進委員 民生委員・児童委員
理事	山村 圭司	民生委員・児童委員
理事	立川 幸恵	地域福祉推進委員 陰地地区福祉委員
理事	田中 優子	奥迫地区福祉委員
理事	岡本 和子	深川台地区福祉委員
理事	岡部 俊子	中郷地区福祉委員
理事	川西 雅子	院内地区福祉委員
理事	池下 美穂	下庄地区福祉委員
理事	天間 育子	尾和地区福祉委員

## 収入の部

## 支出の部

深川地区社会福祉協議会 令和6年度予算

○繰越金	642,178
○助成金収入	
地区社協運営費	100,000
共同募金実績割合	123,150
福祉の町づくり	150,000
自治会連合会	100,000
広報紙助成金	30,000
拠点整備事業	15,000
活性化支援事業	180,000
○寄付金収入	410,000
○雑収入（預金利息）	8
収入合計	1,750,336

○会費（区社協会費）	102,420
○事務費	230,000
○会議費	30,000
○広報費	120,000
○福祉事業費	
福祉の町づくり総合推進事業	280,000
地区社協自主事業（敬老会等）	760,000
○助成金	150,000
（女性会、福寿会、青少協、体協、子ども会）	
○予備費	77,916

支出去合計 1,750,336

## 退任のご挨拶

素晴らしい業績を残された前女性会会長原田さんからバトンを託され、2015年より長きにわたり社協の役員として微力ではございましたが務めさせていただきました。この度、三月三十日をもつて退任いたしました。長引くコロナ禍にあっても沢山の方々からご指導・ご支援をいただきましたこと心よりお礼申し上げます。

2018年には『ふれあいセンターふかわ』が高陽公民館内に開設となり深川地区の拠点として、事務作業機能を充実し、地域住民の皆さんに気軽に立ち寄れるふれあいの場、お困りごとの相談、問題解決の為適切な関係機関に繋げる窓口となりました。

終わりに深川地区社協が今後も益々発展し地域活動が更に推進されることを祈念いたしますとともにこれまでお力添え下さいました皆様方のご協力に深く感謝を申し上げ退任の挨拶とさせて頂きます。

深川地区社会福祉協議会 前副会長  
中川 英子

## 令和6年度「敬老会行事」について

今年度の敬老会行事として、お祝い品を門別訪問でお届けさせていただいくことになりました。  
皆様の健康と多幸をお祈り申し上げます。

### お祝い品対象の方

令和6年6月30日現在で77歳以上の方

寺本 信夫 (深川八丁目)

山野 瑞枝 (深川五丁目)

川西 研 (深川七丁目)

高下 和枝 (深川三丁目)

徳川 政秀 (深川六丁目)

河野 真知子 (深川七丁目)

安田 勝博 (深川八丁目)

匿名希望 (深川)

(受付順 敬称略)

香典・見舞い返し・その他皆様の善意の募金をお寄せください。お寄せいただいた募金は深川地区社会福祉事業の活動に役立てさせていただいております。

○ 1月12日 とんじ祭り  
○ 1月12日 深川学区民大運動会  
○ 1月12日 龜崎神社秋季例大祭  
○ 1月12日 青少協意見発表大会  
○ 1月12日 あさきた元気フェスタ  
○ 1月12日 安全安心なまちづくり  
○ 1月12日 安佐北区民大会

○ 1月12日 とんじ祭り  
○ 1月12日 深川学区民大運動会  
○ 1月12日 龜崎神社秋季例大祭  
○ 1月12日 青少協意見発表大会  
○ 1月12日 あさきた元気フェスタ  
○ 1月12日 安全安心なまちづくり  
○ 1月12日 安佐北区民大会

○ 1月12日 とんじ祭り  
○ 1月12日 深川学区民大運動会  
○ 1月12日 龜崎神社秋季例大祭  
○ 1月12日 青少協意見発表大会  
○ 1月12日 あさきた元気フェスタ  
○ 1月12日 安全安心なまちづくり  
○ 1月12日 安佐北区民大会

## 愛のともしび



【深川地区社会福祉協議会】

824-8501

## 高齢者も安心して暮らせる地域づくり

深川地区においても高齢化が進み、一人暮らしの方や外出機会の少ない方の孤立・孤独が問題になっています。

深川地区社協では、9月1日より高齢者の方が地域で安心して暮らせるように地域全体で支え合う制度として、地域の関係団体（民生委員、福祉委員、女性会、福寿会）の方々を中心とした「深川あんしんネットワーク」を立ち上げました。住み慣れた地域で安心して生活できるように「声かけ」や「見守り」を行うといったものです。

登録された方の情報は、関係機関で共有しますが、守秘義務がありますので安心ください。

この事務局は、高陽・龜崎・落合地域包括支援センターとなります。今後、同ネットワークの趣旨、活動内容などに理解・賛同された方は深川地区社協または、関係団体など担当者に申込みをお願いします。

登録用紙などについては、関係団体にありますので、ご覧になつたりお聞きになつたりして貰いたいです。

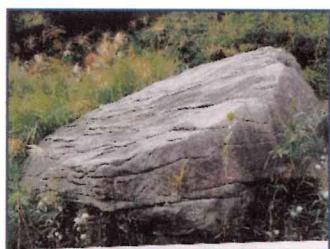
民生委員・児童委員代表 林 孝治



## わくぐり卵（わづら卵）

### ふかわの昔ばなし

昔、奴田が峠にある一軒の家にお婆さんがひとりはたを織つて暮らししていました。ある夏の暑い日のこと、旅の僧が通りかかり、一杯の水を乞われました。お婆さんは気持良々谷川に行き、冷たい水を汲んで差し上げました。「これからは糸を入れなくとも管から糸が出ますよ。ですが疑つたり中をのぞいて見たりしてはいけません。約束ですよ」と言って去りました。それから、いくら織つても管から糸が出てくるようになりました。この話を聞いた入たちは旅の僧は弘法大師にちがいないと噂をしました。庄屋さんからも反物の注文が来て、大晦日には届けようとしたお婆さんは張り切って織ります。大晦日の日、「あと一息で織りあがる」と喜んだお婆さんははついつかりと管の中をのぞいてしまいました。すると、糸がまつたく出なくななり、あわてて糸を紡いでもすぐには糸はできません。とうとう大瓶の上に糸車を置いて、月明かりで糸紡ぎを始めました。よく朝庄屋さんが来てみると、お婆さんは岩の上でわくを持ったまま雪に埋まって死んでいたそうです。それからこの大岩を「わくぐり岩」と呼ぶようになりましたとか・・・。



わくぐり岩（わくぐり岩）  
中深川 憇いの森ひろば

参考  
・管（くだ） 機の縄糸を巻いて梭の内部に装着するもの  
・わくぐり 綿線車にかけ綿花の種をとる

深川郷土史研究会

升尾 成美